

共同研究プロジェクト紹介 理論・構造研究系 の共同研究プロジェクト

| | |
|-----|---|
| 著者 | 窪園 晴夫 |
| 雑誌名 | 国語研プロジェクトレビュー |
| 号 | 6 |
| ページ | 1-2 |
| 発行年 | 2011-10 |
| URL | http://doi.org/10.15084/00000680 |

〈共同研究プロジェクト紹介〉

理論・構造研究系の共同研究プロジェクト

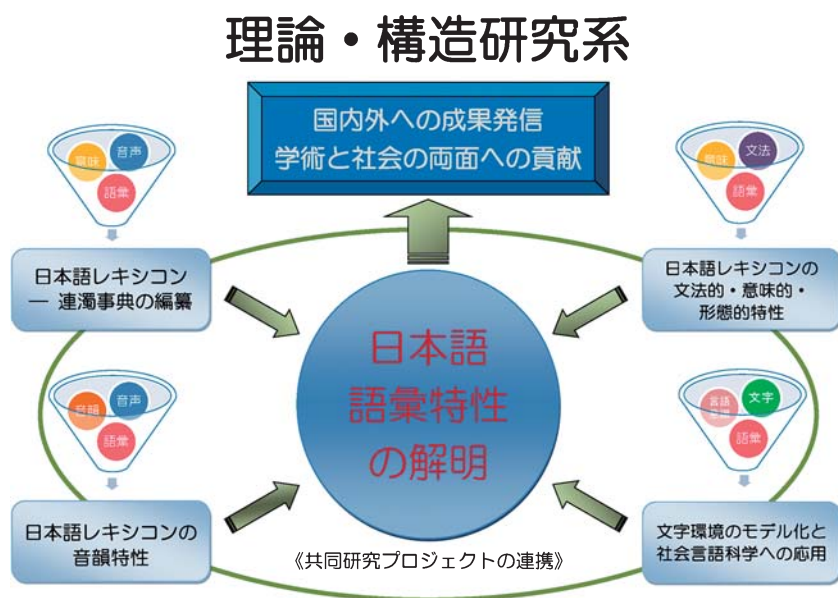
Collaborative Research Projects in the Department of Linguistic Theory and Structure

窪 蘭 晴 夫 (KUBOZONO Haruo)

国立国語研究所 理論・構造研究系長

(Director, Department of Linguistic Theory and Structure, NINJAL)

理論・構造研究系は、現代日本語の文法・統語、音声・音韻、語彙・形態、意味・語用・談話、文字・表記に関わる理論的・実証的・実験的研究を行うことをミッションとしている。現在は、レキシコン（語彙、単語）をキーワードとして、日本語レキシコンの音韻特性、語形成の文法的・意味的・形態的特性、文字環境のモデル化などについて共同研究を推進している。



研究系全体では合計 10 の共同研究プロジェクトが進行中であるが、その根幹となるのが 4 つの基幹型プロジェクトと、それらを補完する 2 つの領域指定型プロジェクトおよび 1 つの独創・発展型プロジェクトである。これらをまとめると次のようになる。

窪 蘭 晴 夫

基幹型共同研究プロジェクト〈略称〉(プロジェクトリーダー)

日本語レキシコンの音韻特性〈語彙の音韻特性〉(窪蘭晴夫, 教授, 研究系長)

日本語レキシコンの文法的・意味的・形態的特性〈日本語レキシコン〉(影山太郎, 所長)

文字環境のモデル化と社会言語科学への応用〈文字と社会言語学〉(横山詔一, 教授)

日本語レキシコン—連濁事典の編纂〈連濁事典〉(Timothy Vance, 教授)

領域指定型共同研究プロジェクト〈略称〉(プロジェクトリーダー)

敬語と敬語意識の半世紀—愛知県岡崎市における調査データの分析を中心に—

〈敬語の経年変化〉(井上史雄, 明海大学教授)

言語の普遍性及び多様性を司る生得的制約: 日本語獲得に基づく実証的研究

〈日本語獲得研究〉(村杉恵子, 南山大学教授)

独創・発展型共同研究プロジェクト〈略称〉(プロジェクトリーダー)

複文構文の意味の研究〈複文構文〉(益岡隆志, 神戸市外国語大学教授/国立国語研究所
客員教授)

この号では、「基幹型」プロジェクトの中で2009年10月に発足した3つについて、それぞれのプロジェクトリーダーがその内容を紹介する。